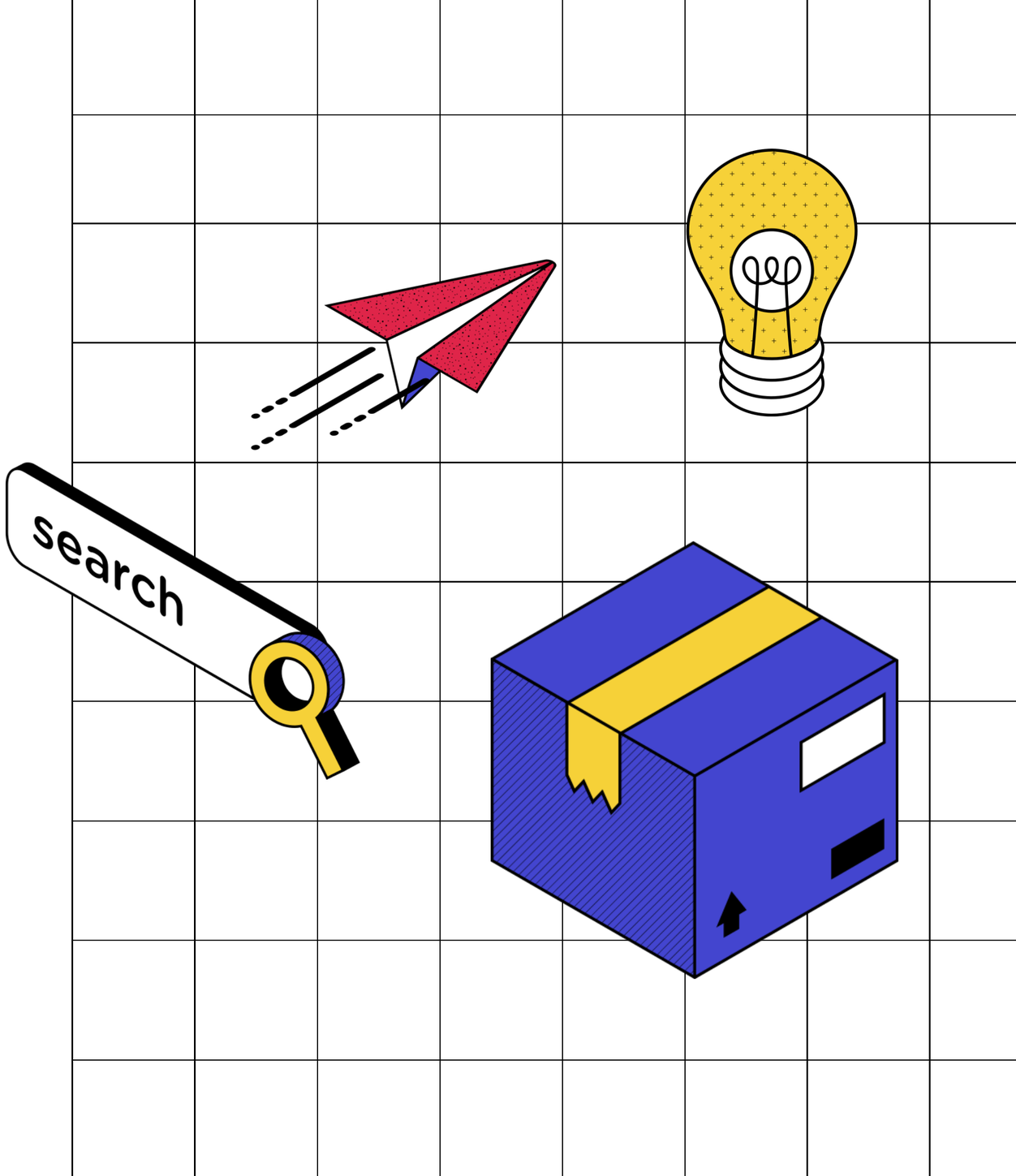
大学間連携災害シンポジウム

2022.01.29

中央大学ボランティアセンター
ボランティアコーディネーター　開澤裕美



行動する知性。
中央大学

自己紹介

- 開澤裕美（かいざわひろみ）
  ボランティアコーディネーター

- 京都府宇治市生まれ、川崎市麻生区在住
  夫、子ども4人、猫の7人暮らし

- 趣味は走ること、筋トレ、カフェでまったり♡

- 大学時代よりボランティアにはまる（国際、環境、子ども）
  旅行会社→NPO→CSRコンサルタント→大学VC

行動する知性。
中央大学

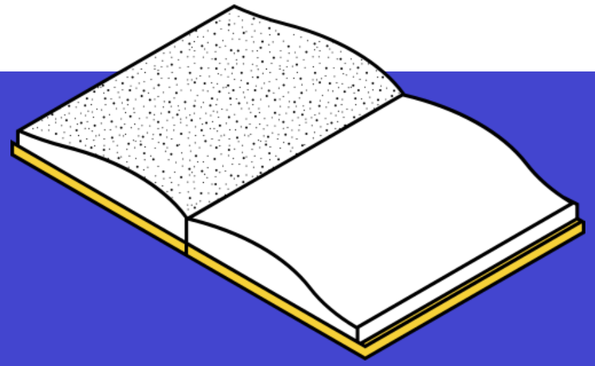
大学の概要

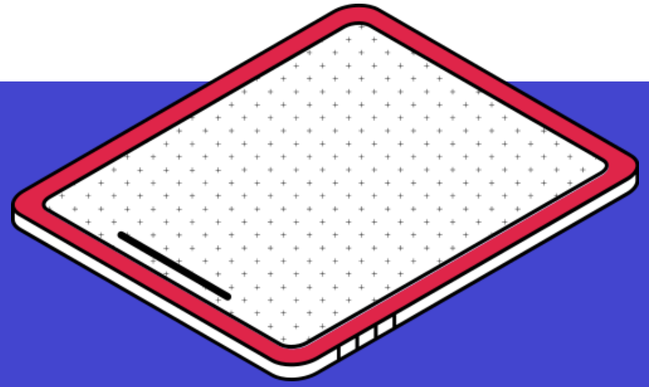
- 設立：1885年
- 学生数：25,008人（2021/05/01現在）
- キャンパス：3キャンパス（多摩、後楽園、市ヶ谷）※2023/04からは4キャンパス
- 学部：法、経済、商、文、総合政策、国際経営、理工、国際情報

センターの概要

- 設立：2013年4月
- 所属：学生部学生生活課内
- 職員数：3.5人（専任兼務、ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、派遣、パート）
- 特徴：VCは多摩キャンパスのみ
  VC公認学生団体7団体（約200人）
  学生スタッフは2021年度より開始（10人）

行動する知性。
中央大学





CVC（中央大学ボランティアセンター）の特徴①

◆ **学び＆言語化を重視**

・事前事後学習に力を入れる
・フィールドノートを作成
・学生が自分自身で立ち位置を確認できるスキルマトリックスを作成

◆ **公認学生団体**の活動が活発

◆ **学生スタッフ**は始まったばかり

◆ 公務員を目指す学生が多いため、それに紐づいた講座を意識

ボランティアで
世界を変える、自分を変える

CVC（中央大学ボランティアセンター）の特徴②

VC公認学生団体（7団体）　※2022年度からは4団体へ

- 各団体に顧問の教員がいて、教育面でサポート　※皆さんボランティア…
- 現地活動ごとに事前事後レポート　→教職員がコメント
- 年間を通して、団体＆個人の目標設定、振り返りを行う
- 交通費＆宿泊費の半額（上限2万円）を支援　※他制度もあり
- 助成金の申請も職員のサポート受けながらチャレンジ

りこボラ！（都内）

チーム防災（都内）

ふらっと真備（岡山・真備）

チーム女川（宮城・女川）

面瀬学習支援（宮城・気仙沼）

チームくまもと（熊本・西原村）

はまぎくのつぼみ（岩手・宮古）

2021年活動

【チーム防災】
小学校での防災授業

【面瀬学習支援・冬活動】
スライムづくり

【ふらっと真備・冬活動】
イベント手伝い

行動する知性。
中央大学

CVC（中央大学ボランティアセンター）の特徴③

学生スタッフ

- 2021年5月からスタート（選考して第1期生は10人）
- オンラインでミーティング
- 2021年12月末に合宿を行い、ビジョンと心得を作成

学スタ五か条

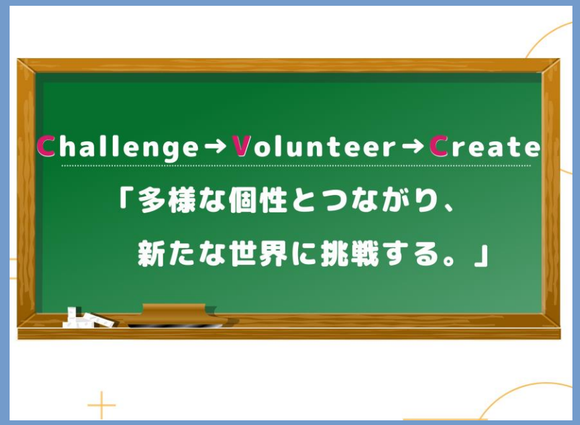
其の一、学生主体
それぞれが率先して自分の想いを行動に移すべし

其の二、社会課題に触れる
社会課題に触れて、多様なバックグラウンドを学ぶべし

其の三、楽しむ
人との繋がりを大切にし、活動を楽しむべし

其の四、振り返り、言語化
経験を言語化し、次に生かすべし

其の五、魅力発信
人とつながり、
新しい価値観を得る喜びを学生に伝えるべし



中央大学（C）
ボランティア（V）
センター（C）
の頭文字と同じです☺

CVC

行動する知性。
中央大学

2020～2021年度の状況（VC）

2020/04	オンラインでの相談スタート オンライン講座準備、実施
2020/10	大学（学長）への要望書作成 各種委員会へかける
2020/11	要望書認められ、キャンパス周辺・VC主催 日帰り活動OKに（都度委員会で承認必要）
2020/12	多摩キャンパス周辺対面活動実施
2021/03	後楽園キャンパス周辺対面活動実施
2021/04	新入生たくさん加入 学生スタッフ新規募集
2021/05	学生スタッフ決定、活動スタート（オンラインのみ）
2021/06	多摩夏ボラ（9カ所11回・47人）、オンライン夏ボラ（5カ所7回・25人）、後楽園夏ボラ（4カ所4回・29人） 企画スタート、広報開始、参加者確定
2021/07	緊急事態宣言により、日程3回再調整（8月前半→後半、8月後半→9月）
2021/08	緊急事態宣言延長により、夏ボラ中止決定 オンライン夏ボラ実施
2021/09	緊急事態宣言が9月末へ延長により、夏ボラ対面すべて中止・・・ オンライン夏ボラ実施 VC運営委員会で行動制限緩和がOKに
2021/10～	VC運営委員会で宿泊を伴う活動が12月よりOKに 日帰り対面ボランティア活動開始 （10月3回、11月5回、12月日帰り1回・宿泊3回）

【要望書のポイント】
- ボランティア文化を守るために対面活動が必須である
- 受入先からのニーズ
- 外部助成金
- 大学の行動指針を順守

【ボランティア活動の条件】
- VC主催活動のみ
- 学外のキャンパス周辺のみ、日帰りのみ、20人以内
- VC教職員が同行
- 緊急事態宣言がでれば中止（大学の行動指針に沿う）
- 学内で認められた活動のみ（VC運営委員会、学生部委員会、学部長会議）

【緊急事態宣言中の活動緩和のポイント】
- 大学の行動指針には緊急事態宣言の項目がないため、各部課室の判断
  学友会を参考にして、一律の中止ではなく、条件つきでの開催を認められる

【宿泊を伴う活動の条件】
- 東京都、訪問先に緊急事態宣言が発令されていないこと
- 蔓延防止の場合は慎重に判断

2020～2021年度の対面活動（VC）

1. 主催事業

活動タイトル	活動概要	日程	活動日数	参加人数
◆2021年度				
後楽園キャンパス周辺地域ボランティア【環境編】ちんじゅの森	自然と共存する生活の知恵を学び、次世代に伝え繋げていくことを実践するNPO法人ちんじゅの森と協力し、草刈りなどの環境整備、ウッドデッキのペンキ塗りを行う	10/24	1	8
多摩キャンパス周辺地域ボランティア【農業編】せせらぎ農園	コミュニティガーデンせせらぎ農園での農作業	10/28	1	16
多摩キャンパス周辺地域ボランティア【環境編】フュージョン長池	草刈りや間伐などの雑木林の管理活動を行うことによって、希少な植物の保護や豊かな里山保全に繋げる	11/6	1	12
多摩キャンパス周辺地域ボランティア【地域づくり編編2】落川交流センターごみゼロ収穫祭	地域の交流の場である落川交流センターでの秋の収穫祭の運営手伝い	11/14	1	7
後楽園キャンパス周辺地域ボランティア【地域づくり編1】さきちゃんち	子どもからお年寄りまで、地域の人々が集い皆にとって居心地の良い環境をつくる「ワークスペースさきちゃんち」で居場所作りの手伝い	11/27	1	8
クリーン大作戦・秋の陣	多摩キャンパス周辺の清掃	11/28	1	10
ボランティアセンターシンポジウム	NPO法人Dialogue for Peopleによる世界の紛争地や被災地、国内の被災地の現状と課題、大学生に伝えたい思いなどについての講演会	2/4	1	–
宮城県丸森町・春ボラ	台風19号で被害を受けた地域での復興にかかわる作業、仮設住宅でのサロン活動	3/3-5	3	–
		合計	10	61

ちんじゅの森

フュージョン長池

落川交流センター
ごみゼロ収穫祭

2. ボランティアセンター公認学生団体

活動タイトル	活動概要	日程	活動日数	参加人数
◆2021年度				
チーム防災　日野市第6小学校 防災授業	小学生対象にした防災クイズなどを盛り込んだ防災授業	10/16	1	11
りこボラ！　クリーン作戦	後楽園キャンパス周辺の清掃	11/13	1	19
りこボラ！　クリーン作戦	後楽園キャンパス周辺の清掃	12/12	1	19
ふらっと真備　冬活動	仮設住宅等でのヒアリング、イベント手伝い	12/17-12/19	3	4
りこボラ！合宿	オリンピックセンターに宿泊して行う運営・活動についての話し合い	12/26-12/27	2	19
跡見学園女子大学シンポジウム	りこボラ！の学生による「つながりを止めるな！りこボラ！の挑戦」という内容の活動発表	12/25	1	1
面瀬学習支援	子どもの遊び場づくり等	12/26-12/28	3	31
		合計	12	104

チーム防災　日野市第6小学校 防災授業

りこボラ！クリーン作戦

3. 学生スタッフ

活動タイトル	活動概要	日程	活動日数	参加人数
◆2021年度				
学生スタッフ　合宿	オリンピックセンターに宿泊して行う今後の活動についての話し合い	12/26-12/27	2	10
		合計	2	10

ふらっと真備　冬活動での写真洗浄

対面活動合計（延べ）

2020年度　　2日、 31人

2021年度　　24日、175人

※2022年1月25日現在

2021年度のオンライン活動（VC）

1．主催・共催事業

①地域活動

活動タイトル	活動概要	日程	活動日数	参加人数
オンライン夏ボラ	①子ども編 ②福祉編・高齢者 ③国際編・デンマーク ④福祉編・障がい者 ⑤国際編・イタリア	①8/18 ②9/2-9/3 ③9/4 ④9/6-9/7 ⑤9/15	7	24
		合計	7	24

オンライン夏ボラ
（子ども編）

②講座・説明会等

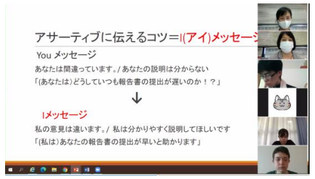
活動タイトル	活動概要	日程	活動日数	参加人数
オンライン・ボラカフェ ボランティアってどんなもの？？	ボランティアについての基本的な説明や、内容、種類、魅力などを説明	4/22(木)、4/26(月)	2	25
学生スタッフ説明会	募集する学生スタッフの活動内容、応募条件、選考スケジュール等についての説明会	4/27(火)、4/30(金)	2	27
中大ボランティア団体合同新歓＆交流会	団体説明 8団体×5分、交流会	5/2	1	70
公認学生団体　スタートアップセミナー	2021年度の体制、それぞれの現状、2021年度の活動、フィールドノートについて、組織を動かすことについて	5/8	1	31
オンライン・ボラカフェ 分野別ボランティア紹介1	環境、農業、子ども	5/11(火)、5/14(金)	2	23
オンライン・ボラカフェ 分野別ボランティア紹介2	国際、地域活性化、福祉、災害、オリパラ	5/17(月)、5/19(水)	2	28

オンライン夏ボラ
（国際編・イタリア）

オンライン夏ボラ
（福祉編・障がい者）

活動タイトル	活動概要	日程	日数	人数
理工学部ボランティアオリエンテーション	文京区社会福祉協議会によるボランティアの紹介資料、学生の体験談を収録した動画の公開	5/31、6/1	2	ー
連続ボランティア講座	①「公務員に求められる力』とボランティア活動　就活や公務員試験で問われること」 ②「これからの公共とその担い手とは？」 ③「企業は社会課題をどう克服しようとしているのか ～ソーシャルビジネスで世界を変える」 ④「ボランティア経験をどのように社会で活かすか？卒業生の活躍から学ぶ」	①6/11 ②6/18 ③6/25 ④7/3	4	112
槇原聡美氏講演会「被災者が伝える、西日本豪雨災害」	槇原聡美氏による講演、ワークショップ、質疑応答	6/12	1	43
力を引き出すワークショップ①「コミュニケーション講座」	竹部友子氏による、グループワークを交えた自分も相手も大切にした自己表現であるコミュニケーションのコツを学ぶ講座	7/10	1	16
オンライン夏ボラ 事前勉強会	ボランティアについて、心構え、参加するボランティアの背景、課題、目的、個人の目標設定と共有	7/26	1	23
CVC版夏ボラ 事前勉強会	ボランティアについて、心構え、参加するボランティアの背景、課題、目的、個人の目標設定と共有	8/4、8/5	2	48
公認学生団体 決起集会	各団体の状況シェア、フリートーク	9/17	1	63
オンライン夏ボラ 事後勉強会＆振り返り会①	グループワークによって自分の参加したボランティアを言語化する	9/18	1	16
力を引き出すワークショップ②「やる気を引き出す、巻き込む」	西川正氏による、人のやる気を引き出したり、活動に巻き込むコツについて学ぶワークショップ	9/25	1	11
オンライン夏ボラ 事後勉強会＆振り返り会②	グループワークによって自分の参加したボランティアを言語化する	9/27、9/28	1	8
秋ボラ・事前オリエンテーション	ボランティアの心構え、活動内容、持ち物、コロナ感染予防策について	10/19、 10/21	2	14
「アナタの想いを企画にしよう！」ワークショップvol.1	社会課題を解決するために、自分の「何かしたい」企画を創りあげ、実行するまでの過程を学ぶ	10/23	1	14
理工学部ボランティアオリエンテーション	文京区社会福祉協議会によるボランティアの紹介資料、学生の体験談を収録した動画の公開	11/18	1	ー
福島・大熊町より、想いをつなぐオンラインイベント 「被災地の現状を知り、現在を問う」	福島県大熊町より木村紀夫さんとつないで行うオンラインイベント	11/20	1	12
コロナ感染対策勉強会	年末に宿泊を伴う活動を企画している3団体に対する、コロナ感染対策についての勉強会	12/5	1	11
「アナタの想いを企画にしよう！」ワークショップvol.2	りこボラ！と学生スタッフを対象にした社会課題を解決するために、自分の「何かしたい」企画を創りあげ、実行するまでの過程を学ぶ	12/5	1	8
力を引き出すワークショップ③経験を「つぎ」に活かすワークショップ ～自分の経験を深掘りし振り返り人に伝えるコツを学ぶ～	滝井元視氏による、経験をキャリアに活かすためのワークショップ	12/27	1	12
社会人になる前に防災について考えてみよう！ ～大学での突然の災害、どうやって命を守るか～	OB会との共催、七十七銀行女川支店の事例をもとにした企業防災を考えるイベント	2/12	1	ー
		合計	33	615

槇原聡美氏講演会



コミュニケーション講座

「やる気を引き出す、巻き込む」
ワークショップ

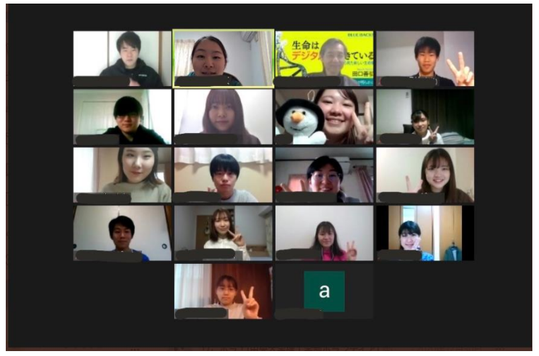
2. ボランティアセンター公認学生団体

①被災地・復興支援活動

活動タイトル	活動概要	日程	活動日数	参加人数
ふらっと真備 倉敷市社会福祉協議会へのヒアリング	オンラインでの倉敷市の現状のヒアリング	10/22、10/24	2	16
		合計	2	16

②地域活動

活動タイトル	活動概要	日程	活動日数	参加人数
■チーム防災				
チーム防災 「防災王」第1回決定戦！！	日野市主催オンライン講座における防災に関するクイズ大会	8/28	1	13
		合計	1	13
■りこボラ！				
りこボラ！第1回ボラカフェ	雑談形式で行う体験談の共有、懇談会	4/24	1	16
りこボラ！　総会	りこボラ！の運営説明、団体理念の共有、目標設定等	5/15、5/16	2	103
りこボラ！夏の活動 事前勉強会	ボランティアについて、心構え、参加するボランティアの背景、課題、目的、個人の目標設定と共有	7/27	1	20
りこボラ！ボランティア相談室	運営メンバーがボランティアについての相談を受け、ボランティアの提案やアドバイスを行う ①教育系、②スポーツ系、③地域・福祉系、④環境系	①8/28、②8/29、 ③8/30、④8/31	4	18
りこボラ！第2回ボラカフェ	雑談形式で行う体験談の共有、懇談会	11/21	1	16
		合計	9	173



りこボラ！オンラインボラカフェ

オンライン活動合計（延べ）

2021年度　52日、841人

2020年度　88日、1319人

※2021年12月13日現在

2020～2021年度の対面活動（VC）

【対面・日帰り活動での感染対策】

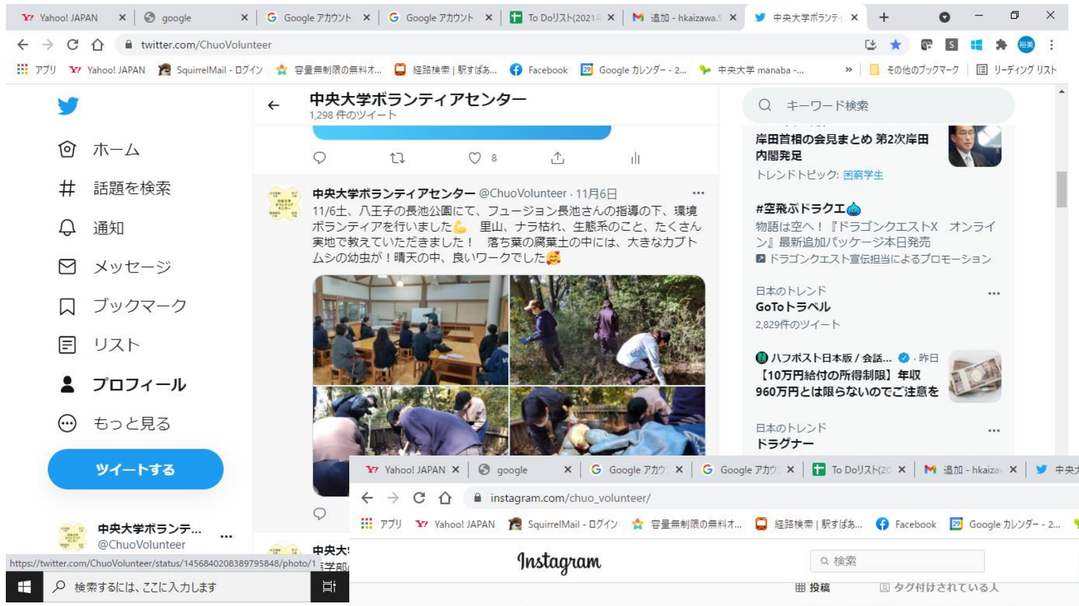
・活動2週間前から検温
・共有の道具は使わない
・軍手持参
・アルコール消毒持参
・当日の活動前健康確認フォーム、活動日行動記録

【対面・宿泊活動での感染対策】

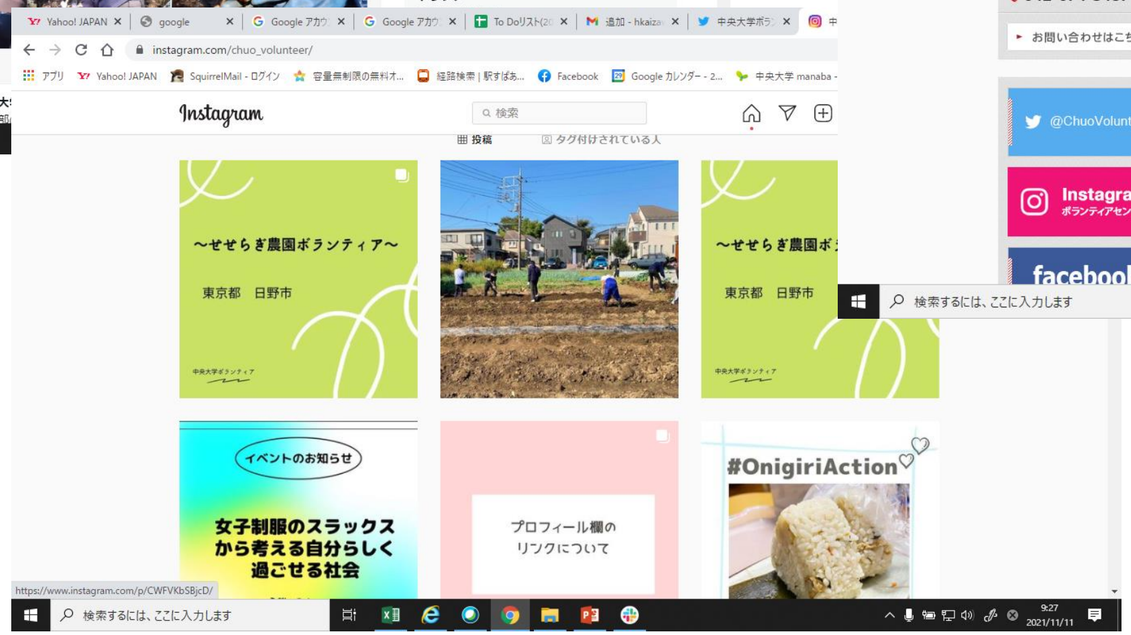
日帰り活動の対策に加え、
・宿泊は1人部屋推奨
・教職員全日同行
・活動内容の見直し（屋外など密を避けられる活動）
・ワクチン接種有無やPCR検査等は行わない

行動する知性。
中央大学

2020～2021年度の対面活動（VC）



Twitter



Instagram

公式HP

withコロナの中

工夫したこと

企画を通すために学生の声を全面に

・学生の声を全面に出しつつ企画
・目的、懸念事項などをあらかじめ考える
・受入団体は多摩では信頼関係のできているところ
・後楽園では紹介してもらい、話し合いを重ねた

コロナで中止になった場合に備えて

・対面活動が中止になった場合、何もできなくなるのでオンライン夏ボラも別途企画。学生スタッフ大活躍！

参加の機会を増やすために回数を重ねて

・事前事後学習は必須としたため、参加率をあげるため回数を重ねて実施。結果100％参加（夏ボラ3回、オンライン夏ボラ1回、個別3回）

withコロナの中

それぞれの立場でできること

コーディネーターとして

・学生、現場の現状をしつこく訴える
　学生の声を共有、メールもccに加える
・諦めずにできることを学生と一緒に探る
・オンラインでできることも積極的に探る

教員として

・コーディネーターだと言いにくいことを職員へ提言
・幅広い視点で学内の動きを見て、論点をアドバイス
・教育的な面での説得力↑

職員として

・学内の細かい事情、行動指針、スケジュールの中で
　どのように動くべきか調整
・他部所（課外活動系）の動きをくまなくチェック

withコロナの中

いま感じていること

学生の声

・「ガクチカ」のネタがない
・何もしていない、友達ができない
・このまま社会人になるのが不安

感じていること

・学生の忙しさ、余裕のなさが増している？
・学生間の差がより広がった？
・出不精度がアップした？
・ボランティアへの壁がさらに高くなった？
・新たなことにチャレンジすることを諦めがち？

今後の課題

・フィールドノート＆マトリックスの活用
・学内＆教職員の理解、マンパワー不足

中央大学
ボランティアセンター
シンポジウム

はまぎくのつぼみ

チーム女川

チームくまもと

2/4 (金)
14:00 ~ 16:30

日本でも毎年のように災害が起こっています。
世界における被災地・紛争地では何が起きているのか。
その中で私たち学生は何ができるのかを考えます。

（オンライン開催）

「私たちがいま、繋げたい、伝えたい想い」

第1部 安田菜津紀氏講演会

「紛争地、被災地の声を写真で伝える」

安田菜津紀氏プロフィール

1987年神奈川県生まれ。NPO法人Dialogue for People（ダイアローグフォーピープル/D4P）所属フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-』（日本写真企画）、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

第2部 活動を収束する学生団体によるトークセッション

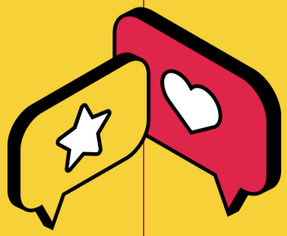
「現地とかかわるとはどういうことか、
団体を閉じるとはどういうことか」
はまぎくのつぼみ×チーム女川×チームくまもと

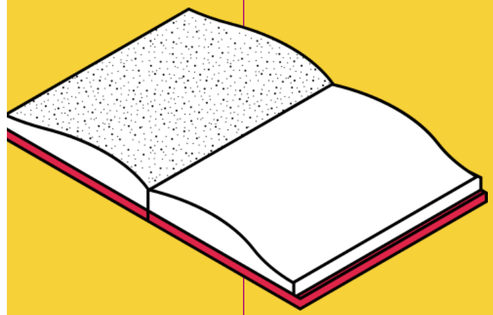
第3部 安田さんと参加者の共有の時間

★詳細・お申込み★→
2/3(木)〆切

【協力】公益財団法人 電通育英会

【主催・お問い合わせ】中央大学ボランティアセンター Tel:042-674-3487e-mail:chuo-volunteer-grp@g.chuo-u.ac.jp





ご清聴
ありがとう
ございました

hkaizawa.55b@g.chuo-u.ac.jp

042-674-3487

★ 活動情報発信中！★
「中央大学ボランティアセンター」で検索

facebook
ボランティアセンター

@ChuoVolunteer